**図　画　工　作　科　学　習　指　導　案**

日　時　　　年 月　　日

対　象　第６学年　組　　名

授業者

会　場　図画工作室

　　　　一階廊下・階段・渡り廊下

**１** 題材名 　「ここに！！アートスポット」A表現(1)ア(2)ア〔共通事項〕(1)ア,（1）イ

**２** 題材目標

学校の校舎の場所や空間の特徴を基に考えたり、そこに一緒に生活している他学年のことを考えたりしながら、どのような活動にするかを考え、今までの経験や技能を総合的に生かしたり、方法を組み合わせたりするなどして活動を工夫してつくる。

**３** 評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知知識・技能 | 思思考・判断・表現 | 主主体的に学習に取り組む態度 |
| ・自分の感覚や行為を通して形や色などの造形的な特徴を理解している。  ・活動に応じて材料や用具を活 用するとともに，前学年までの 材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり，方法などを組み合わせたりするなどして，活動を工夫してつくっている。 | 玄関や学校内の形や色などの造形的な特徴を基に自分のイメージをもち，段ボールや色画用紙、そのほかの材料の特徴を基に造形的な活動を思い付き、構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考えている。 | つくりだす喜びを味わい主体的に表現する学習活動に取り組もうとしている。 |

**４** 題材について

1. 題材観

本題材は、小学校学習指導要領(平成29年告示)

図画工作　〔第５学年及び第６学年〕 内容　Ａ 表現（１）ア（２）ア〔共通事項〕（１）ア（１）イ

Ａ表現（１）ア　　造形遊びをする活動を通して、材料や場所、空間などの特徴を基に造形的な活動を思いつくことや、構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考えること。

Ａ表現（２）ア　　造形遊びをする活動を通して、活動に応じて材料や用具を活用するとともに、全学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、方法などを組み合わせたりするなどして、活動を工夫してつくること。

共通事項（１）ア　自分の感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解すること。

　　　　　　　イ　形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと。

を受けて設定した。

　　学校内のさまざまなものや場所、環境の全般からイメージを広げ、「紙」「段ボール」「マスキングテープ」などの今まで使ったことのある材料から選び、活動を工夫してつくる内容である。

**※（2）児童観**

　　　　児童がどのような既習事項を学んでいるかを記入する

1. 教材観

　造形遊びの場所は、児童が生活する学校の環境である。今まで5年間過ごしてきた学校は、児童にとってよく知っている場所や空間である。そして、他学年の児童や教師が一緒に生活する場だ。造形遊びでの発想の元となる、場所や空間の特徴の中には、同じ学校に生活する「人」もはいる。造形物があることによって変わる「人の動き」や「人の感情」も想像しながらつくる。そのために、廊下に定点で置き撮影した動画を見せる。何もない状態と、造形物がある状態で比べると、造形物があることによって人の動きや表情が変化することがわかる。

　次に場所や空間を探すために、タブレットPCを用意し場所を選んで撮影する。「この場所をどのように変えるか」をペンで描き加える。小グループで交流し、どんなふうに場所を変えることができるかを話し合うことにより、「こんなこともできるかもしれない」や「こうやったら○○の学年が□□のように感じるかも」といういろいろな発想が共有でき、発想が広がる。

　そして、実際の場所や空間を探す。実際の場所に行って身体全体の感覚をつかい、どのような活動にするかを考える。本題材は発想の段階を特に大切にし、全員が「どのように活動するか考える」ことができるように題材の流れを組んだ。

**５** 題材の指導計画と評価計画 （４時間扱い）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間 | 主な学習活動 | 評価の観点  （評価方法） |
| 120  分  本時  120  分 | 題材の内容を知る。  　〇動画を見て、作品によって変わる人の動きや表情について知る。  　〇どこにどのような造形物をつくるかをイメージしながら場所を見付ける。  　〇見付けた場所に合った材料を選んでつくる。  お互いの活動を見合う  振り返りカードの記入 | 知　思　主  （タブレット端末  活動の様子・表情  作品） |

**６** 本　時 （全４時間中の第１．２時間目）

(1) ねらい

学校の校舎内外の場所や空間の特徴を基に考えたり、そこに一緒に生活している他学年のことを考えたりしながら、どのような活動にするかを考え、今までの経験や技能を総合的に生かしたり、方法を組み合わせたりするなどして活動を工夫してつくる。

(2) 展開（９０分授業）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | ○学習活動　　・予想される児童の反応 | ●指導上の留意点・配慮事項  ☆評価　知　思　主 |
| 導入  展開①  展開② | 〇題材について知る。  学校の場所や空間の形や色からイメージしてどのような活動をするかを考えて工夫してつくろう  〇動画を見て、アートがあることによって人の動きや表情が変わることを知る。  　・すごい。おもしろい。作品があるとないと、　　が変わる。  〇見る人やその場所を通る人のことも考えて、どこにどんなものをつくったらいいのかを考えながら場所を選ぼう。  　・階段を昇るのが楽しくなるようにしたい。  　・思わず玄関に入りたくなるようにするにはどうしたらいいかな。  〇タブレットPCで撮影した写真に直接ペンで描き  こみ、どのような活動にするかイメージをす  る。  〇お互いがどんな場所を選んで、どのような発想をしているのかを交流する。  　・玄関が大きい生き物みたい。楽しいね。  　・体育館へ行く通路にカーテンが付くなんて、光が入ってきれいだろうな。  〇自分が選んだ場所や空間に合わせた材料を選び活動を工夫してつくる。  　・自立させたいから段ボールでつくろう  　・光が透けるようにしたいからビニールシートをつかおう。  本日の振り返り  片付け | ●アート→芸術・美術など間接的に社会に影響を与えるもの  　定義づけをして、児童にイメージをもたせるようにする。  ●場所の写真を見せて、図画工作室前から一階の玄関と、体育館へ向かう渡り廊下、西階段から選ぶように伝える。  ●場所や空間からイメージできない児童には、友人がどのような視点で選んでいるのかを紹介したり、一緒に考えたりする。  ●タブレットPCの操作は事前に説明をしておき、操作上のことで児童が困らないようにしておく。  ●交流することにより、自分では気づかなかった視点や、考えられなかった発想を知り、この後の造形活動に生かせるようにする。  ●一人でつくっても良いし、友人と話し合う中でグループでつくっても良い。イメージが浮かばない児童は、友人とつくる中で、いろいろなことを話したり、共有したりしながら活動できるように声をかける。  知　思　主（活動の様子・作品・振り返りシート）  ●次回への見通しをもたせる。  　つくってみて必要な材料があったら次回までに用意するように伝える。 |

**８** 学習の準備

児童： はさみ　のり

教師：タブレットPC　画用紙　段ボール　色画用紙　マスキングテープ　 透明シート　カラーペン

　　　アクリル絵の具　筆　パレット

**９** 板書計画及び場の設定

○板書計画

ここに！！

アートスポット

　学校の場所や空間の形や色から

イメージしてどのような活動を

するかを考えて工夫してつくろう

学習活動のながれ

予告

準備

1. 場所をさがそう

　〇場所の特徴（形・色）

　〇だれが見る？

どんなふうに見る？

1. 相談タイム

班で→自由に

1. 材料を選んでつくろう

次週完成！

タブレットPC

ワークシート

筆記用具

めあて

１４：５５まで

〇場の設定

　図画工作室

材料置き場

段ボール

模造紙・画用紙

透明シート

カラーペン

アクリル絵の具

パレット・筆

黒　　　板

タブレットPC人数分

入口

児童の活動場所

図画工作室前～主事室前までの廊下　　一階から二階に向かう階段・階段踊り場

西昇降口から体育館へ向かう渡り廊下

ワークシート

ここに！！アートスポット

☆学校の場所や空間の形や色からイメージしてどのような活動をするか考えて工夫してつくろう

あなたが選んだ場所

ふりかえりと次時の準備

写　真

作品について

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |

　　　組　名前